

ごあいさつ

1922年に京都第一商業学校のボート部の有志が集い、びわ湖畔に日本ヨット倶楽部の名称で発足して90年になりました。本日ここに多くの皆様をお迎えして設立90周年を祝うことが出来まして、大変喜んでおります。この間、ご指導、ご支援くださった各位にこの場を借りて御礼申し上げます。

ところで、大正、昭和、平成と3世代を受け継いできましたBYCは80周年を迎えた10年前よりHPを整備し、種々活躍のご報告をしております。

詳しくは80周年の記念のCD-ROMでクラブのこれまでをご覧いただいておりますので、その後10年の主だった活動を申し上げますと毎年3つの主だった行事をしております。

まずは京都新聞主催のSAILおおつです。永年BYC主催で開いてまいりました琵琶湖カインド・レガッタを継承するもので去る8月26日に第14回を開催しました。次に月例のBYC-CUPを年間10回開催し、誰でもが参加出来るヨットレースとして定着しております。そして友好クラブの京都ヨットクラブ、湖翔ヨットクラブとの交流として開きます比叡レガッタは44回を数え、本日開催することが出来ました。

この間、滋賀県の行政改革の1つにヨットハーバーの売却ないしは廃止が提案され、帆走パレードというこれまで類を見ない湖上での抗議を行うなどして、結果はハーバーの管理料の値上げで決着しました。

一方BYCが1939年建造で今も帆走しているEZ艇のご縁でオーストリアのクラシックレガッタへ招かれ、交流の場を得ました。またこれを契機にEZ艇の修復作業を本年2月から毎週進め、先ほど完成しました。

さて 厳しい経済情勢が続きます今日、私ども社会人のヨットクラブも会員の退会など難しい時代に直面しております。しかし今日まで先輩が築き上げた成果を次の時代へ受け継いでゆく責任を自覚し、次の100周年に向けて努力して参ります。皆様には引き続きご指導とご協力をお願いして90周年のご挨拶とさせていただきます。

会長 長谷川 和之

平成24年9月9日